

令和5年度

第72回 大垣市美術展

青年の部

絵画・デザイン・彫塑工芸・写真・書道

と き 令和5年11月3日(金祝)～12日(日) 午前9時～午後5時
 ※休館日：11月6日(月)・7日(火)

ところ 大垣市サイトピアセンター 展示室4-A (文化会館4階)

主催 大垣市・大垣市教育委員会
 後援 大垣市文化連盟・大垣美術家協会
 運営 大垣市美術展運営委員会
 公益財団法人大垣市文化事業団



◆ 絵 画

- | | | | | | |
|-------|---------|-------|-------|------------|------|
| 1 市展賞 | チャージ！！ | 長谷川愛 | 14 入選 | 日の入り | 若山心奈 |
| 2 優秀賞 | 孤高の戦い | 松原愛華 | 15 入選 | 私の個性 | 佐藤芹香 |
| 3 奨励賞 | 二回目の自画像 | 林慶樹 | 16 入選 | 亀の真実 | 高橋李果 |
| 4 奨励賞 | 情報過多 | 白井千尋 | 17 入選 | この世界に2人だけ | 森美咲 |
| 5 奨励賞 | 夢と現実 | 日比彩友美 | 18 入選 | ニゲラ～本当の自分～ | 長柄夏季 |
| 6 入選 | 閉じた世界 | 河村まお | 19 入選 | カレーライス | 斎藤七海 |
| 7 入選 | 電腦の中の願い | 野原実夕 | 20 入選 | 冬のきつね | 今村優月 |
| 8 入選 | カメラ | 伊藤舞織 | 21 入選 | クラゲの体育館 | 田口颯流 |
| 9 入選 | 街の景色 | 松永梨花 | 22 入選 | 努力と希望 | 太田遥菜 |
| 10 入選 | 白昼 | 法土亞里沙 | 23 入選 | 超獣戯画 | 吉田朱那 |
| 11 入選 | 春の使い | 土田樹李 | 24 入選 | 机の下 | 佐伯弦 |
| 12 入選 | 蓮 | 野中陽毬 | 25 入選 | クラスの表示 | 森栞那 |
| 13 入選 | 家族 | 大塚怜 | 26 入選 | 星空 | 河合凌輔 |

◆ デザイン

- 1 市展賞 ミ ニ マ ム 林 咲 良
- 2 優秀賞 落 花 流 水 米田彩純
- 3 奨励賞 いただきます！ 河瀬豊虎
- 4 入選 どれにしようかな 阿部菜々
- 5 入選 Color Eater 清水悠加
- 6 入選 友 情 土田樹李
- 7 入選 Can you see? 花木陽愛
- 8 入選 踊っているから0カロリー 小宅穂乃香
- 9 入選 花 音 三宅望生
- 10 入選 円の価値よ あーがれ！ 村中望桜
- 11 入選 寝てる場合じゃねえ 松下泰己
- 12 入選 お も い 小川佳玲奈
- 13 入選 現 実 逃 避 柴崎結衣
- 14 入選 犠 牲 佐々木梨乃

◆ 彫塑工芸

- 1 入選 ドキドキラブリー 小笠原如美

◆ 写 真

- 1 市展賞 私 の 表 裏 松岡朋葉
- 2 優秀賞 雨上がりの奇跡 松田華
- 3 奨励賞 偉大なる父 松浪葵
- 4 奨励賞 風 鈴 の 声 牧野日菜子
- 5 入選 またねっ！ 後藤梓沙
- 6 入選 今 年 竹 田中耀乃
- 7 入選 夏の空を走る 高木梨帆
- 8 入選 千手観音の化身？ 大橋芽生

- 9 入選 ニ ャ ン だ ？ 岡部留奈
- 10 入選 夜空に咲くしだれ菊 高橋快聖
- 11 入選 ないしょの話 服部真侑
- 12 入選 L O V E 西松朱莉
- 13 入選 夢 の 国 宇佐見友那
- 14 入選 青春応援歌 川瀬里茉
- 15 入選 裏切りと無常 黒田高行
- 16 入選 境 界 線 宮崎莉子
- 17 入選 ゴ マ ち ゃ ん 眞田敢大
- 18 入選 記憶キャンパス彼岸花 島岡礼
- 19 入選 最後の74式戦車 戸崎敬介
- 20 入選 の が さ な い 戸谷萌華

◆ 書 道

- 1 市展賞 臨 張 猛 龍 碑 高橋心優
- 2 優秀賞 観 妙 滅 塵 想 藤田和佑
- 3 優秀賞 淡 窓 詩 野崎ひかる
- 4 優秀賞 臨 王 鐸 王 維 詩 森田沙希
- 5 優秀賞 臨王鐸題画三首之一 鈴木沙彩
- 6 奨励賞 臨 九 成 宮 體 泉 銘 安藤康貴
- 7 奨励賞 海 月 澄 無 影 小寺史恵
- 8 奨励賞 施 閏 章 詩 梅田結衣
- 9 奨励賞 臨 木 簡 山田貴仁
- 10 奨励賞 臨 王 鐸 宿 江 上 作 田中実優
- 11 奨励賞 古 今 集 四 首 國井風花
- 12 奨励賞 臨 孔 子 廟 堂 碑 中嶋彩
- 13 入選 臨 集 王 聖 教 序 兒玉はるな
- 14 入選 臨 白 氏 詩 卷 穴戸日菜向

15	入選	臨高野切第三種	小林花楓	43	入選	臨蘭亭序	遠藤有佳
16	入選	臨高野切第一種	石原咲哉	44	入選	臨争坐位文稿	宮川あきな
17	入選	臨高野切第一種	竹中みちる	45	入選	臨吳雜詩帖	上田心美
18	入選	臨風信帖	山田美桜	46	入選	臨王鐸高適詩	桐山真緒
19	入選	臨孔子廟堂碑	岡島千夏	47	入選	臨王鐸香山寺作	清水美那
20	入選	臨集王聖教序	栗野美咲姫	48	入選	臨蘭亭序	布施友莉亜
21	入選	臨蘭亭序	岸上結愛	49	入選	臨李太師帖	小林蒼依
22	入選	臨蘭亭序	柳瀬綾華	50	入選	臨集字聖教序	青山紗弓
23	入選	臨趙孟頫南還帖	鵜飼明日葉	51	入選	臨争坐位文稿	勝十葉
24	入選	臨皇甫誕碑	林美月	52	入選	臨九成宮醴泉銘	香田衣里奈
25	入選	臨道因法師碑	赤塚彩瑛	53	入選	臨孔子廟堂碑	吉田朗絆
26	入選	臨雁塔聖教序	青井真菜	54	入選	漢詩(五言句)	山田雄斗
27	入選	尊徳性道問学	勝野瑞葉	55	入選	臨伊都内親王願文	奥村空
28	入選	張廷玉詩	原田みこと	56	入選	臨伊都内親王願文	牧野悠暉
29	入選	杜甫詩	古市旭	57	入選	臨九成宮醴泉銘	牧野脩斗
30	入選	李白詩	加藤優杏	58	入選	臨集王聖教序	岩井心春
31	入選	許虬詩	多賀有佳里	59	入選	臨牛橛造像記	安藤沙也佳
32	入選	孟浩然詩	森千紘	60	入選	臨祭姪文稿	上野真麻
33	入選	侯銓詩	伊藤朱莉	61	入選	臨争坐位稿	堀内優妃
34	入選	臨多寶塔碑	大橋明音	62	入選	七言二句	柴山來奈
35	入選	臨樂毅論	矢野里沙	63	入選	七言二句	江尻咲耶
36	入選	杜甫詩	宇野ひなた				
37	入選	馬場ひかりの詩	矢橋千恵				
38	入選	東山魁夷の詩	竹中梨々				
39	入選	高村光太郎詩	杉山綾香				
40	入選	侯銓詩	石田晴菜				
41	入選	野口雨情詩	浅野結愛				
42	入選	臨争坐位稿	坂口はな				

審査員

《絵画・彫塑工芸・デザイン》

金田典子 鈴木泰子 千賀希

《写真》

河村廣吉 水上尊雄

《書道》

右近正枝 大槻章夫 大橋隆

萩野浄 安田美智代

●絵 画

市展賞の「チャージ!!」は昨年の出品作品の細部の描き込みの弱さを克服し、モチーフの質感にこだわった見応えのある作品に仕上げられました。描写力の高さに加え、思いきった構図にも魅力を感じます。

優秀賞の「孤高の戦い」はインパクトのある大胆な構図にチャレンジした人物表現に目を引かれます。人物のデッサンに努力の足跡が見られますが、水しぶきの表現をもう少しこだわって描き込めば良かったと思います。

奨励賞「情報過多」は美しい色彩でコラージュの面白さなど表現力のある作品です。今回は50号の作品にチャレンジして下さい。

「夢と現実」は、ディテールの処理には描写力がみられますが、基本的な人物のデッサンも努力しましょう。

「二度目の自画像」は油絵らしい、人物制作に取り組んだ姿勢には好感が持てます。頭部と体のバランスなど、描いている途中で気になったらもう1度デッサンを見直しましょう。

油絵や水彩など大きな絵画作品は高校時代でしか描けないものです。時間をかけて楽しみながら描いて下さい。そのためにも描きたいものを表現するためのデッサンや、表現力を養いましょう。

●デザイン

全体的にデザインとしての表現について、一生懸命考えて取り組んだことが伺える作品が多く、メッセージ性の強さを感じた。また、表現の工夫も様々で写真的なものやイラスト的なもの、現実的なものや非現実的なものなど、多岐に渡っている。

市展賞の「ミニマム」はまさにその多岐に渡る表現をすべて詰め込んだような作品である。“シンプルで可愛いイラストのひよこ”に油断していると、その周囲からこちらを見ているいくつもの目からの視線に気づき、ドキッとする。空間を贅沢に占有し、おおらかに構成された中心部と、細密に描かれたもの達と、所狭しと敷きつめられた周辺部。カラーとモノクロ。大きく描かれた、小さなものと小さく描かれた大きなもの。色々な角度からの様なコントラストがあり、全体から細部まで色々な所を探しながら、いつまでも眺めていたい作品になっている。

優秀賞の「落花流水」は、一見優雅で繊細な美しい絵といった佇まいの作品であるが、よく見るとアールヌーボーを思わせる画面構成と金魚、草花、流水といった日本画的な構成要素が組み合わせてある。西洋と日本の異なる文化がとても自然に交じわっており、作者の表現や、描写のスキルの高さを感じる。

奨励賞の「いただきます」は、何よりもまず描かれている状況のインパクトが強い作品である。この状況をどう見せたいのか、作者の意図は分からないが、所々黒い白米と、欠けた茶碗、おかずのように上に乗る爬虫類は、明らかに食欲をそそらないのに、背景の赤や湯気のような表現はおいしそうなお気配がある。この相反する表現に感覚が混乱してしまう。デザインとしては伝えたい事に対するアプローチが明確でないという点はあるが、見た人の注意を引き、記憶に残す力は強く、それらを可能にする画力もある作品である。

●彫塑工芸

出品数が少ない部門ですが、立体作品は素材を組み合わせたり、着色したり、様々な角度からの見え方を想定して制作するという面白みがあります。

今回の「ドキドキラプリー」は、変形キャンバス2枚に校庭で拾った木の枝を組み合わせる立体というチャレンジが、見る人を楽しませてくれます。

1枚は平面的な満足げな天使の姿ですがもう1枚はキャンバスに下地材を盛り上げて本物の木の枝につなげるといふだまし絵的な表現にも工夫が見られます。どちらも、もう少しこだわって描き込めると良かったです。立体作品は、制作するプロセスにも魅力があるので、今後出品数が増えることに期待したいです。

●写 真

市展賞の「私の表裏」は、左側にスマホで撮影した「見せかけの笑顔」と右側には内面を対照的に表現した目を引く作品です。

優秀賞の「雨上がりの奇跡」は放課後、水たまりに映し出された一瞬の風景が鏡像のように美しく仕上がっています。

奨励賞の「風鈴の声」は大胆な構図で青空を背景として、鈴やかな音とともに参拝者の想いも伝わる写真です。「偉大なる父」は撮影者の父親が垂井祭りで町内の代表として先導する姿をよく映し撮っています。

昨年と比べると出品数が減り少し残念でしたが、全体的にレベルが高い作品が多く見られました。学校内だけでなく校外に足を運んで撮影した写真が多かったのも特徴です。高校生の視点で作品に込められたテーマと、それに共存するタイトルの付け方が重要となります。ピントとトリミングが少し甘い作品が見受けられたのが残念でした。自分の思いを込めた作品作りにチャレンジしてみてください。

●書 道

本年度の書道作品は、漢字・かな・近代詩文など篆刻を除いた各部門の作品が出品され、年毎にレベルの向上が見えて大変喜ばしいことで力強く感じました。しかし、出品数の減少は残念なことです。出品作品は力作揃いで入選・入賞の作品を選定する時には、大変苦慮いたしました。

入賞作品は伸びやかな線や重厚な筆致が巧みに表現されていて変化に富んだ作品です。高校生としての真面目な探究姿勢が感じられ頼もしい限りです。書作品を作成する時は、本文に誤字脱字がないことは勿論ですが書作者の名前と雅印を押してはじめて作品が完成するというのも大切な要素です。個性あふれる一点一点をじっくり鑑賞してください。世界に誇れる日本の伝統文化「書道」を高校生の皆さんが今後さらに力強く表現していかれることを切に願っています。「書道」は日本の大切な宝物です!!